

広島会場アンケート [平成24年7月29日(日)]

個人情報は伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
1	<p>3つのうちのどれを選ぶのかという方法をやめて下さい。原発の問題は、エネルギーや環境問題の範囲に限らず、とても広い分野の意見を求められます。0%、15%、25%などという数値ではなく、未来にわたって、日本がどんな社会を作っていくかという話し合いの場を作して下さい。まず、これだけたくさんの方が意見発表を求めて参加しているのだから、会場参加者の意見も聞く時間を設けるべきです。意見表明者の持ち時間3分とか5分とかではなく、1人あたりの持ち時間も長く、以下は内容について。素朴な疑問、今現在日本には原子炉が2基しか稼動していませんが、どこにも電力は不足していません。夏場のピーク時ですら、節電しなくても電力は足りていることが分かり、先日、節電目標が全国で解除されました。本当に原発を動かさないと、電力は不足するのですか？ 将来的にも、火力発電8基(=原発3基分)を止めてしまいました。でも、は停電しないと言っています。大飯原発を再稼動する前に、あれほど(-16%以上の不足と)計画停電をと国民に言っていたのに。国は電力会社の言うことを鵜呑みにせず、本当のデータを使ってシナリオを作成していますか？ 電力会社は電力需要を過大に見積もり、発電量を過少に見積もっていると思います。万一、電力が足りないとしても、日本に電力を足りさせるため(経済を安定させるため)なら、原発でなくてもできるはず。安全性が確保されてもいない、事故を起こさなくても日常的に周囲の人を被爆させ、原発を維持する働く人の健康を損なう原発で、わざわざ電気を作る必要はありません。原発をやめると電力会社が赤字になり、働く人がリストラされて不景気になる。これは、日本の政策が新しいエネルギーに転換することで、必ず克服できると思います。命あつての経済発展。以上の理由で、私は2030年といわず、できるだけ早く、日本に原発をなくすのが、日本国民を幸せにする道の一つだと思います。原子力発電の是非について、エネルギーの供給力、日本の経済発展が否かという話しか出来なくて残念。もっと大切なことを忘れていませんか。GDPが高い経済大国にするためのエネルギー政策なんて、国民の命のことを何も考えていない論議。この先、原発が存在するだけで、どれだけの人の命が損なわれ、健康被害を受け続けなければいけないかを、ここでは誰も語らない。エネルギーは、経済は人を幸せにする一つの手段。原発54基は日本全土を放射能汚染し、食べ物によって日本人全て内部被爆させ続けています。関東地方どころか、日本中の魚や食材が既に汚れてしまったのに、それでもなお原発を続け、原発の発電でなければ日本の経済を維持できないなどという考えはおかしいです。単にエネルギーや電力の問題ではなく、日本の放射能汚染をどうやってくい止め、命を守るかを論議したいです。国民の幸せを実現させるエネルギー革命の話し合いをしたいです。</p>
2	<p>別添資料のとおり。</p>
3	<p>その他のシナリオの意見表明補欠者として、プレゼンを用意して来ていましたので、添付します。ご高覧いただけましたら幸いです。</p>
4	<p>参加する前からゼロシナリオをと思っていましたが、意見表明の方々のお話を聞き、より強くそう思うようになりました。日本の進む道を決めると言ってもいいことです。是非命を第一に考え、そして国民1人1人の取り組む問題として捉えられるようお願いしたいと思います。</p>
5	<p>今、火力で動かしている。野田さんが動かすことを進める以上、原発止めても地震は来る。急ぎ処理しなければ、わが国は壊滅です。</p>
6	<p>原発は悪魔のシステムです。原発のない未来を望みます。</p>
7	<p>日本のしくみ(沖縄基地、原発にしても、必ず誰かを暗黙の犠牲にして成り立つ社会)を変えて下さい。人ごとではない。国民はやる気だ。ケムに巻くな。国民はお互いの未来の為に、ちゃんと理にかかった我慢はする。</p>
8	<p>産業、企業の衰退にならぬよう、安全の確保は大前提ではあるが、原発の稼動は必要である。</p>
9	<p>もっと広い場所で、参加希望者が全員参加できるようにするべきだ。</p>
10	<p>日本の技術力、そして今、原発推進に費やしているお金を廃炉と自然エネルギー開発に本気で向ければ、0シナリオは十分可能だと思います。事故がないに限らず(絶対安全はありえないと思っていますが)、処分しきれない放射性廃棄物を出し続ける原発には、私は反対です。パブリックコメントの集約は、国民に周知されるのですか？</p>
11	<p>これを国民的議論とは認めない。それぞれが好き勝手に無責任な発言をしていただけです。冷静かつ建設的に「議論」をすべきです。8月に決定することに反対します。</p>

広島会場アンケート [平成24年7月29日(日)]

個人情報伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
12	現実問題、今の生活が精一杯でお金の余裕がありません。太陽光パネルを強制的につけることになったとして、その支払いの為に、志高く勉強に励んでいる我が子に、お金がないから上の学校に行くのを諦めるなんてこと言えません。けれど、そうしなければならなくなるかもしれません。それでは困ります。実際、世の中のほとんどの人々が、今現在の問題をどれほど理解しているのか。マスコミも好きなことを言っていて、何が本当かわかりません。そこで、映像シミュレーションを作って頂きたい。ゼロにしたらこんな生活、世界になる。そこからスタートで、これだけ頑張ればこのくらい生活が今に近づくなど、誰もが見て分かるように映像にして下さい。そうすれば、もっと広く国民の意見が聞けるのでは？ 大人も子供も含めて、百聞は一見にしかずです。意見会も大切で有意義ですが、ほんの一部の意見しかわかりません。TVの力を使って、見せて頂きたい。実際、今、原発ゼロにすると、明治初期のような生活になるのではないのでしょうか？ それをどれだけの方が分かっているか。働かないと儲かりません。お金がまわらないと豊かな暮らしはできません。ゼロが当然良いのでしょうか、ゼロにした場合の世の中はどうなるのでしょうか。経済がまわらなければ生活できません。政府は声の大きな集団の方へあっちへこっちへとフラフラと動いているような気がしてなりません。もっと国民へ理解されるような、堂々とした姿勢をとって欲しい。国民だけでなく、政府まで感情論になってはならないと思います。その道のプロと言われる方々の意見や考え方を冷静に聞き、判断していくことが大切だと思います。「くさいものにはふた」になっていませんか。理想論だけでは何も始まりません。
13	高レベル放射性廃棄物の処分に関する施策や、原発廃止後のエネルギー政策の見通しなど、もっと明らかにして欲しい。まだまだ議論のためのたたき台となる情報が足りないと思う。十分な議論と、原発比率の縮小を同時並行的に進めて欲しい。
14	「ゼロシナリオ賛成です。」今回の意見聴取会は、意見表明の比率も改善されよかったと思ったが、実際ゼロを望む人が多いことが実感できたよかった。私も、即刻廃炉に向け準備して欲しい。再生エネルギーは、うちの田舎(過疎地)でもバイオマスエネルギー、小規模水力発電など可能性大で、幅広く支援して普及させて欲しい。昨年、菅前首相の新エネルギー会議、ネットで視聴していました。これからもよりオープンな国民の声をききながら進めていただきたい。ところで、数か所で開催した意見聴取会をアライとして「国民の声聞いてシナリオ15にしました」という結果にならないですよね。あくまで国民はゼロ希望です。意見表明にもありましたが、2030年度以降どうしたいのか、肝心な事がきけなかったのが残念。
15	政府が責任を持って最終判断すると言うが、政府の「責任」に任せられない。私の友人(女性)は、福島でフィルムバッジを身につけて仕事をしています。不安を持っています。早く全炉を廃炉への決断をすべきです。核廃棄物の処理方法が、全く見えません。
16	国際情勢、安全保障、経済状況、原発技術、エネルギー問題などが複雑に関係するので、予め確たる方針は決めない方がよい。総合的に検討して、原発を全廃できるなら望ましい(原子力廃棄物処理が万全なら別)。国家の強固健全な運営を最優先する。
17	「原発」が止まってしまったら、誰が困るのか？ だから火力・水力で補うのではないのか？ 全て原発が止まれば、産業が衰退するのか？ 電力がなくなるのか？ 困るのか？ こういふ議論がそもそも必要なのか？ 7/29、この公聴会が行われる前日、の会長は、原発推進の発言をしている。そもそも、原発の再稼働ありきでこの公聴会を開いているのかとすら思わざるを得ない。「ガス抜き？」なのか？ 本当にこの公聴会で議論された事が政策という形になって、国民の前に出されるのだろうか？ 「ただやっただけ」「経済成長には不可欠」という言葉をつけて、原発が今後も残るのではないのか？ グリーンエネルギーへという言葉が形骸化されるのではないのか？ 本当に、原発からの脱却ができるのか？ 選挙が近づいたら方針は変わらないのか？ マニフェストにのるのか？ 我々はきちんと監視していかなければならない。「被爆」という言葉、どう考えているのか？ 意見が本当に集約されているのか？ 国民への周知は本当に努力しているのか？ 全員が納得できるものがないと、信用はありえない。どうするのかも含め、方針を出すべきだと思う。
18	まるで原発反対派のデモンストレーションのようであり、電力会社の意見も言わせるべきであり、また、4, 6, 7, 8が如き人物は、意見を述べさせる事は無いと思う。国民に過度な省エネを求めるのは反対であり、国家政府は、国民を楽にする様、努力すべき。原発からグリーンは意味不明。もっと解りやすい言葉にすべき。4番のおっさん喋らせすぎ。こんな人間を出すなら、電力会社社員にも話しをさせる。
19	早く国民が理解納得できるエネルギー政策を示して欲しい。様々な意見はあるが、国として正しい方向性をしっかり見定め、国民をリード、方向づけを行ってほしい。
20	もっとたくさんの人に意見を述べさせて。子供達を守って。国民の命を一番に考えて。原発に頼らないエネルギー政策で雇用を増やし、経済に活力を。市民の声は「音」ではない。

広島会場アンケート [平成24年7月29日(日)]

個人情報は伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
21	福島事故の処理が完了しない段階では、ゼロからのリスタートが相応。安全性の問題も含めて、そこから考え直していくべき。政府提案以外にも再生可能エネルギーの利用の選択肢はあるのではないかと。一般発言者の意見は情緒的な部分もあったが、よく理解できた。しかし、古川大臣の発言はよく分からなかった(官僚的?)。
22	国民の意見聴取会を開いたのは一歩前進だと思うが、形だけの国民の意見聴取にしないで欲しい。長期計画と、当面、中期計画と分けて論点を整理しないと、議論がかみあわない。長期的にはゼロシナリオ(2050)、当面(2020年)20シナリオ、中期(2030年)10シナリオが私の意見。そのための技術開発、ライフスタイル変更などの方策を盛り込むべき。価値観の異なる国民に説明するためには、それなりの政府の努力が必要。
23	この意見聴取会がどれだけの意味を持つものなのか? 本当に意味のあるものとするなら、今後政府の決定する事項が、これらの意見聴取会の意見を反映されたものであるべき。参加申込み時点で、「0シナリオ」を望む人がどの会場でも最も多数であるという事実から目をそらさず、今後の政策を考えるべきだと考える。
24	既に提案済みであります。発言時間は絶対守るべき。発言者に安易な補充をすべきではない。
25	様々な意見がある中、政府はどうやって最終的なまとめを行うのか。選挙しかないのかと思う。申込が約250名、あまりにも広島市民の興味が少ないのを知って、がっかりしました。
26	エネルギー環境会議で作った3つの選択肢については、国民に意見を聴く前にまず国会に提案して、国民の代表者で議論をするべきだと思う。その上で、論点や現実可能性について明確にした上で、国民に提案してはどうか。国民に直接聴いても、意見が多すぎてまとめられないのではないかと。
27	3分の1以上の方が反対しているのに、一顧だにしないで決めるのはおかしい。国民投票する位の国民的議論が必要。最終処理の技術が決まる前に原発するのは、トイレの無い新築マンションのようなもの。輸出などもってのほか。発電に力を入れるより、省エネ技術に力を入れる方がよい。日本人に向いている。意見表明は4分ではなく、比率に等しい程度にしくはない。
28	ここで議論されたことについて、しっかりと国において検討していただき、形だけで終わらせないようにして欲しい。
29	福島原発事故による被爆の実態、被爆した人々への補償をふまえて、原発の是非を論議していく必要があると思います。
30	節電でNGOで22%の効果も予想されています。廃炉への技術等輸出して貢献したい。はと同じく、一旦経営破たんしてから新会社にしたい。大株主が金融業界で、ドイツのように専門家を選択して、討論を全公開としてパブリックコメントを求めたい。マスコミでも報道を願います。マスメディアの情報を鵜呑みにして、原発が減らせない意見表明者もいて、しっかりした原発維持意見が聞けなかったのは残念。の社員でも、大株主でも参加を求めます。
31	申込から連絡が来たのが金曜のAM0:00過ぎでした。せめて締切りの次の日(木曜)の夕方までには連絡が欲しかった。木曜中に連絡がなかった友達は、もうだめだと思って日曜の予定を入れた人もいました。
32	0シナリオとなった時の雇用、経済、電気料金の水準など、マイナス要素に対する事に触れる人が少ない。結局は0シナリオの人は裕福な人で、電気料金の上昇や雇用などの不安が無い人ばかりのような気がする。私は雇いをきちんと守ってもらい、少しでも安い電気を使用したい。電気は足りているという発言があったが、ピーク時に定検を行わないよう、春から夏にかけて最前線で頑張っている人の姿が全く見えていない。万全の体制を構築しているので、足りている。努力の賜物。そもそも、電力会社の人間の発言を禁止すること自体、茶番劇。ムダな時間だった。



広島会場アンケート [平成24年7月29日(日)]

個人情報伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
33	再生可能エネルギーはコストのインセンティブが働く事が前提でのみ普及が可能。プレミアムが剥がれ落ちれば、何十年も先も脇役の域を出ることは出来ない。最適解を求める為の会合であるにもかかわらず、一方的な見解の表明に終始した感がある事は残念です。我々の支払った電気料金の先行投資としての原子力発電所であり、安全性の確保ができたものを稼働もさせず廃炉など、債権放棄にも等しい行為で到底許容できない。新設炉については国の政策によるとしても、既設炉について安全基準の確立、早期の稼働を切に望むものである。資源小国であるがゆえに、明治以降、いく度の侵略戦争にかりたてられた日本のエネルギー構造は、何も変わっていないわけで、自給率4%など文明国たる地位を保つのも危うい。かたや、技術先進国としての日本の責務として、原子力の安全性を確立し、世界に提示することが必要と考える。例えば、東南アジア諸国にそれを期待することは、いささか夢物語であろう。世界のウラン需要の1/8を消費している日本の50基が動かなければ、ウラン価格が低下し、中国等の新規立地を加速するとともに、国外の発電所起因の原子力防災さえ必要になる日も来るかもしれない。選択肢の放棄は、パーゲニングパワーの喪失につながり、国富の海外流出を加速し、国の衰退は必至となろう。15%シナリオ。事情が許せば、20~25%シナリオが必須と考える。
34	数値目標を達成する具体策がないため、現実的な議論が出来ない。もっと分析をして、リアルな数値を出すべき。
35	今回を含め日本で11カ所の聴取会があると聞いているが、1回にかける時間が少なく、議論の時間も少ない。ましてや、8月以降にこのシナリオを決定すると言われていたが、たったこれだけのことで決めるなどという事はありえない。最低全国47カ所で行うべき。
36	化石燃料の高騰対策は(70% 80~90%にウェートは上昇するのではないか)。再生エネルギー開発は途中の段階ではないか。
37	広島会場での意見発表の場なのであれば、広島県を含んで、中国地方の人が意見を言うべきである。他のブロックの人が意見発表すると、中国地方の人の意見が少なくなる。他ブロックの人が意見発表するのであれば、同じ15シナリオを考えていたので、意見発表させてもらいたかったので、残念に思っています。私も国家公務員で、電気技術者でもあるので、皆さんに聞いてもらいたいと思いました。
38	今後の進め方の中に検証のステップがありますが、再生可能エネルギー等の達成が困難な場合、選択したシナリオを変更、又は破棄し、現状に戻ることも必要です(わが国の場合、決めた政策に固執するくらいがあります)。中国地方固有の問題として、島根3号機があります。これまで4千数百億円も投入しており、これを直ちに廃炉とすれば、我々の電気代として跳ね返ってきます。原子力を国策として推進してきた政府が、これを補償するのでしょうか。ゼロリスク信仰が蔓延していますが、政府はこれまで放射線の影響について、国民に科学的に示した事があったのでしょうか。電力任せにせず、テレビ等を利用して正しく教育すべきです。放射性廃棄物の受け取り拒否は、政府の責任です。福島全県民の被曝調査は30年後、低線量被曝の影響が全くなかったことの証明になると思われます。サイレントマジョリティーの意見はどうとらえるのでしょうか。国家100年の計を考え、政策は立てて欲しいものです。
39	データが出所によりいろいろ異なっている事態を、解消してもらいたい(政府に主導権をもって信頼できるデータを示して欲しい)。
40	国民の意見を聞きたいなら、国民投票を。まず、私は脱原発派です。それぞれの立場の方へメッセージ。「脱原発の方へ」感情的になるのはとても理解できる。でも、今必要なのは、「やめる」と叫ぶだけではなく、国民も省エネの行動をすること。感情的な議論では前に進まない。「原発推進派の方へ」数字だけで判断せずに、未来の子供達の事を考えて欲しい。地球は私達が死んだ後も、子供達の足元にあり続けるのだから。「政府、電力会社の方へ」どのシナリオでも、省エネや家庭へのクリーンエネルギーの普及は不可欠。国民の意識向上は大切だが、それだけではないでしょうか。政府、電力会社として方針転換をして欲しい。特に、 は他地域より原発依存度が低い。小水力、風力、農家に穀物をもらってのバイオマス発電などを推進し、クリーンエネルギーのモデル地区になって欲しい。これは全国の聴取会では決められない。国と電力会社の英断を期待します。
41	何ヶ所から意見を聞いたとしても、たかが100名程度のもので、この少数意見が国民の意見として良いのか大変疑問です。国民の意見を聞くのであれば、原発に関して国民投票を行う事が最良だと考えます。ただし、公開討論会や賛成派、反対派の専門家のまとめたリーフレットや本などを作り、投票前1年前に国民に勉強の機会を必ず作るべき。この手法はすでにヨーロッパで実施済ですので、日本でやれない訳がありません。国民全体の生き方に関わる重大な問題です。
42	茶番。特に「反対」論者を持ち上げ過ぎ。業社、特に電力会社の人についても、参加をさせるべき。必要なのは、「電力」の実体を知ったうえで議論すべきでは？

広島会場アンケート [平成24年7月29日(日)]

広島会場アンケート [平成24年7月29日(日)]

個人情報は伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
43	15シナリオ、20～25シナリオのグリーンシフトの具体像は、同じ枠に書いてあるというのは疑問に思います。％が違うのになぜ再生可能エネルギーの導入の数値が同じなのでしょう？ 原発は本当に安いのか？ 再処理も同じくは、どこの国もトライしてあきらめず。今後、そこに何十億のお金をかける必要があるのか。ウランだって、永久にあるわけではない。原発は安いものでも永久に使えるものではない。ゼロにするしかないと思う。経済の影響も3つのシナリオと共に数字がかなりかぶっている。新しい産業、技術の開発は、ゼロシナリオの方が大きいと思う。もう一つ気になるのは、現在、原発（福島原発）で働いている人たちの健康、労働条件について、本当にきちんと考えて配慮がされているのか？ 目に見えないだけに、ちゃんと配慮をお願いしたい。インターネットを活用するのはいい面もあるが、使えない人がいるということもきちんと考えて欲しい。ネットで流しているから、全ての人にOpenに伝わっていると考えるのは間違っていると思う。
44	責任をあいまいにせず、刑事罰を含めての行政をお願いしたい。 は漬す位でないとダメ。
45	エネルギーの供給を各個人に委ねるという点において、国家としてあまりに無責任ではないでしょうか。レイジー・マイノリティーの声に、国家は安易にブレてはいけません。国防、食料と同じで、「なくてスミマセン」では済みませんので、よろしく願います。ここで意見表明された方が、広く一般の方の意見を反映しているとは思えない、と肌で感じる事が出来ました（特に、2回目の意見表明された方は、論外です）。
46	本日の会が、日本のエネルギー選択にどう影響するのかが心配です。聞くに堪えられない意見もありました。しかし、これが世の中です。自分の子供達に少しでも安全な暮らしを残したい。この企画をプロデュースしている企業はどこで、いくら予算が使われているのでしょうか？ たとえば、原発必要派の人の中での交換会、原発反対派の中での交換会とか、あらゆる場での意見を拾い上げ、今後に生かして行って頂きたいです。
47	私の意見の原稿は添付しました。パワーポイントの使用について、予め設定しておいてほしかった。
48	LNGガス+再生可能エネルギーで十分です。送電と発電、会社の分離。
49	0%の意見の方は、きちっとしたまとめで話しているのに、15%、20～25%の意見を言っている方は、急に話すことになっていて、意見としてよくわからなかった。原発の必要性は伝わってこなかった。
50	原発を再稼働をする条件として、電力会社の会長、社長、重役さん等、また国会議員、保安院の人達も5km以内に子、孫と永久居住した所から、県知事さんは再稼働を許可する。ならば、国民は許可し理解すると信じます。別紙No.1のみあります。別紙参照、1枚のみ（No.1）。
51	原発ありきの提案であったように思います。安全でない原発はありえません。もっと本当のことを話すべきです。見えない提案の中で話をするのはナンセンスです。脱原発ありきです。シナリオは維持できないと話をされました。もっともだとも思います。もっと本気で考えてください。意見表明が少ない。答えをどう反応していくのか。
52	意見を聞けば聞くほど、ゼロシナリオに賛成です。原発の恐ろしさ、安全性も確認されていない。原発でないもので生活していけるのではないのでしょうか。
53	原子力はこれからも必要なエネルギー。技術立国としても国の基幹エネルギー。特に島根3号や上関も含めて新設し、雇用や経済の発展に貢献していくべきではないか。省エネや再エネでは経済発展はありえない。
54	私は、原発を日本では即時に止めてもらいたいという意見を持っています。ドイツはすでにシュレーダー政権から脱原発を目指した。メルケル政権が脱原発を決め、又一番の要は倫理の問題である。
55	氏の言う如く、即刻原発やめても電力充分との考えにしっかりとした反論があるなら政府、電力会社から意見表明を。
56	大切なものだから、難しいです。どんどん会話したいです。
57	表明させていただきました。

広島会場アンケート [平成24年7月29日(日)]

個人情報は伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
58	先ず、今エネルギーの選択をする前に、現在原発の安全が120%担保されないまま再稼動を行ってよいのでしょうか。例に再稼動する場合でも、絶対的な安全を担保することと、今、国論を二分している原発再稼動問題(国策の重要な問題として)を、国民投票等全ての国民の民意が反映され、その後決定しても遅くないと思慮します。人の「命」に関わる最重要案件をもう少し慎重に行動すべきであると考えます。又、この様な国民の意見を交換できる場を多く設置して下さい。古川大臣、大変でご苦労とは存じますが、今一度、「生命」「安全」を再考していただき、後世に問題を残さない様、もうひとふんばり汗を流して下さい。
59	選択肢が充分ではない。核燃料の問題等、考える必要があると考えます。また総合的に検討する場が足りない。業界別で利害関係者の意見は聴くが、トータルにどうなんだということ等、聴く場が必要と考える。本日の公聴会で理解が深まりました。
60	意見表明者等の連絡が遅れていたたり、ずさんに感じます。発表者(1人)がまるで独壇場の様に思われましたが、良いのでしょうか。
61	使用済核燃料の処理が緊急課題だと思えます。電力消費を原発に頼らないためには先ず、「もんじゅ」の扱いを教訓に、次世代クリーンエネルギーを考え、徐々に原発を減らす方法が環境経済の両面に推移出来ると思えます。
62	本日の様な会で、意見を述べる事が出来る人、出来ない人がいます。声の大きな方の意見ばかり目立ちますが、サイレントマジョリティとも言つべき方々の意見にも、耳を傾けて頂きたい思います。
63	政府は菅内閣の時に原発に依存しないと表明したが、1年も経たないうちに野田は「生活より経済」と言って大飯原発を再稼動させた。国民の側からみると、財界にへつらう「野ダイコ」だ。即刻やめる。民主党もおしまいだな。「事故の影響は4年経ったらなくなる」と 財界はほさいでいるが、人の生命をなめるな。へんな資料はいらん。あと18年も原発と同居するのはゴメンだ。ということで申し上げたいのは、意見聴取会をやったので国民の声は全て聴いたと思わないで下さい。これは国民の声を聴く方法としての一つに過ぎないという事です。直接投票制への道を招き、国民が生命に直接関わる問題については、決めるようにはしたいと思えます。国会や政府、政党は国民から依託されているだけです。現在の国会議員の質をみていると、不安が募ります。私の方があなた方よりも立派だと思えます。この会場は漫談会場のようでした。生活の危機感、生命の危機感が感じられなかった。これで政策決定してもらおうと困ります。貴重な機会だったのに、入選のミスも目立ちました。電気代3%の上乗せ制度はやめるべき。
64	政府に対する信頼が高まらない中で、このような会を開いて、どれだけ意見が反映されるのか、かなり疑問である。今後、政府がどのように取り組んでいくのが注視している。
65	経済を維持する為、20~25%シナリオを。
66	発言を辞退するように圧力を加えるとは何事か。事務局から心情を聞いたかった。
67	日本の未来を決定する重要なことで、国民の意見を聞く回数、規模共に小さすぎる。少なすぎるのでは? 今回の意見聴取会は福島事故を踏まえて行われているものですが、福島事故が終わった事としていませんか。今でも2号機から1日、1億9200万ベクレル出ているのを参加者全員へアナウンスしたい。今この時に日本国民全員が危険にさらされている。それが原発の姿であり、それに対処できないのであるから、もっとそこに重点をおくべき。今回の聴取会、パブコメの意見を今後どの様に反映していくのか、ホームページへ掲載して欲しい。参加者全員が意見を述べる機会が欲しかった。
68	No10,11の方の意見は十分理解ができました。示された資料を多くの皆さんの意見も机上の計画や、間違った認識に対する反論や訂正もできないやり方は、いかがなものかと思えます。「その他の意見」という名の「0シナリオ」であったのでは。同一者の2回の発表もいかがなものか。理想は掲げるべきと考えますが、理想ばかりでは国民の文化的な生活は補償できないと思う。日本が安定した国民生活、安全保障を希望するのであれば、今後も一定程度の原子力発電は必要であり、原子力政策の推進、堅持すべきと考える。斜陽産業に新たな技術は生まれないと思う。既存の原子力発電所の安全と安心を担保するためには、原子力政策を推進し、優秀な技術者を育成し、確保していくことが重要と思う。広地域対消費地という構図は避けて欲しい。国民の意見を聴いて頂く事は大変有り難いと思えますが、大勢の意見が正しいとは限りません。将来をしっかり見すえ、国会において十分に議論し決めていって欲しい。無資源国家の日本において、防衛、エネルギー、食料をいかに確保し、安定した国民生活を提供していくのが具体策をそれぞれの国会議員に示して欲しい。現在の電力需給は火力発電が無理をしながら発電を続けているという事実をしっかり伝えて欲しい。そこで働く従業員は、いつ事故が起こるのかという不安を持ちながら、毎日を送っていることも十分に理解を頂きたい。核燃料サイクルを堅持しなければ、使用済燃料の課題はなくなるらない。私の家は高浜、大飯PSから10km圏内にあり、毎日原子力発電所を長年にわたり向き合って生活をしております。

## エネルギー・環境の選択肢に関する意見聴取会（広島市、H24.7.29開催）での意見

まず、今回の政府資料（検討）や各地での意見聴取会での議論、各種団体からの意見・提言等を踏まえると、現時点で我が国の将来のエネルギーのあり方や電力事業のあり方を選択できる段階に至っていないと申しあげたい。

については、以下の意見も参考にいただき、現在進められているエネルギー・電力事業に関する議論を一旦白紙に戻し、あらためて、今後、3～5年程度をかけて、事実・現実を正面から直視した真摯かつ真剣な議論のうえで、政府が責任を持って、結論を出し、国民を説得していただきたい。（これができない（すべて民意に決めてもらう（ポピュリズム））政府であれば、それができる政府（政権（政党））にその立場を譲っていただきたい。）

1. そもそも、今回の議論の発端から考えると、原子力発電のパーセントの議論ではなく、国のエネルギーの“安全保障面”から議論すべき。

要するに、原子力発電に代わる“ベース電源 かつ 国産（準国産）エネルギー”を「何で、いつまでに、どのくらいにするのか（できるのか）」について議論すべき。（この結果として、原子力発電のパーセント（依存度）が決まってくると考える。）

つまり、原子力発電に代わることができる上記エネルギーを目標設定して取り組みを進め、その実際の達成量から原子力発電量を引き算するという考え方のほうが、現実的かつ実践的である。

2. （百歩譲って、1. のそもそも論を避け、今回提示された選択肢を議論するとした場合でも）各選択肢における経済成長率（実質GDP）の前提1. 1%と、新成長戦略で目標に掲げている2%が乖離しているもので、議論すること自体に問題がある。（現下のデフレ状況を鑑みると、2%成長を前提として、選択肢も作り直すべき。）

3. 本選択肢の議論に関連して、別に同時並行的に議論されている電力システム改革について、意見を述べさせていただきたい。

電力システム改革については、電力システム改革専門委員会（H24.1設置（議論は第1回H24.2.2））で議論されてきたが、その結論（7/13）は、“今後、全面自由化、発送電分離等を積極的に行う”といったものであったが、そもそも、電力システムの議論の出発点は、東日本大震災（福島第1）における原子力発電に対する安全性への不安に伴い生じた電力不足を教訓とした“今後の将来にわたる電力の安定供給をいかにして実現していくか”が最も重要かつ喫緊なテーマ（論点）であったと自分自身は考えている。（これは、H24.2.2の第1回電力システム改革専門委員会の資料3「電力システム改革専門委員会の設置について（H24.1）」にも記載されている。）

しかしながら、先般、専門委員会が出された結論は、“電力の安定供給をどう確保するか”といった視点から、“全ての国民に『電力選択』の自由を保証する”に変貌したことに非常に違和感を感じている。

したがって、電力システムについても、あらためて、原点に戻った議論をお願いしたい。

※第1回電力システム改革専門委員会の資料3から抜粋

“我が国が現在直面している喫緊の課題は、震災を契機とした大規模電源の停止による供給力の不足に対応し、どのように効率的に安定供給を確保していくか”である。

以 上




C-2 2012/7/29

平成24年 7月29日 (日)  
“エネルギー・環境の選択肢に関する意見聴取会”

～ 意見表明<その他のシナリオ> ～

みんなで話し  
合おう!

2012年7月29日(日)のエネルギー・環境の  
選択肢に関する意見聴取会



これからお話しすること

- ① 私が選ぶシナリオ
- ② ①のシナリオを選ぶ理由
- ③ 政府ご提示の3つのシナリオ  
(②の理由と照らし合わせて)
- ④ 結論：私が選ぶシナリオ
- ⑤ 今後に向けて

① 私が選ぶシナリオ

原案は「ゼロ」  
ただし、ご提示の「ゼロシナリオ」よりも  
温暖化対策を強化したもの

② ①のシナリオを選ぶ理由

予防原則





**20~25シナリオ**

**20シナリオ - 課題**  
 2010年度の電力消費量(A:120%)、(B:100%)  
 2025年度の電力消費量(A:200%)、(B:100%)  
 2025年度の電力消費量(A:200%)、(B:100%)  
 2025年度の電力消費量(A:200%)、(B:100%)  
 ⇒ X

**25シナリオ - 課題**  
 2010年度の電力消費量(A:120%)、(B:100%)  
 2025年度の電力消費量(A:200%)、(B:100%)  
 2025年度の電力消費量(A:200%)、(B:100%)  
 2025年度の電力消費量(A:200%)、(B:100%)  
 ⇒ X

よって、3つのシナリオの中にはない  
 ↓  
 <その他のシナリオ>

④ 結論：私が選ぶシナリオ

原発は「ゼロ」  
 ただし、ご提示の「ゼロシナリオ」よりも  
**温暖化対策を強化したもの**  
 温暖化防止のための科学の要請に導かれる  
(2010年度電力消費量: 2025年度電力消費量: 2025年度電力消費量: 2025年度電力消費量)  
 これができて、はじめて「予防原則」に導く

できるのか?

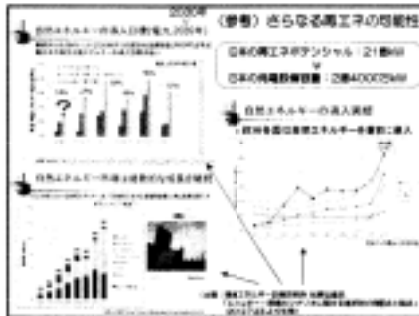
「さらなる省エネ」+「さらなる再エネ」で可能

(参考) さらなる省エネの可能性

- ・ 2010年度の電力消費量(2010年度)は、特に産業の電力消費が中心。
- ・ 民生の省エネが実現すれば、2010年度の電力消費量が約10%減少。
- ・ 民生の省エネが実現すれば、2010年度の電力消費量が約10%減少。

	2010年度 消費 【100%】	2025年度 消費 【省エネの強化 (民生省エネ20%・産業省エネ10%)】	
民生	3301	2624	▲7%
民生	3412	2696	▲20%
民生	3022	2471	▲22%
民生	100	100	
合計	9576	6907	▲27%

出典：電力供給計画委員会「電力供給計画(2010年度)」、電力供給計画(2010年度)「民生省エネ」



⑤ 今後に向けて

ヒトは間違いを犯すもの

大事なのは、  
間違いに気付いたときに  
どのように対処（軌道修正）できるか

皆で一緒にやっていくこと

批判は大事  
でも、“一緒にやっていくこと”が、もっと大事  
もちろん、関係各者への十分な配慮は必要

まずは、徹底的に議論を行い、  
この議論が決着したら、  
「ノーサイド」。

政府も、電力会社も、連合団体も、市民も、賛否なし。  
その代わり、ちゃんと、議論を、終の声を聞いてノ返答してくださいね。

皆で、知恵を出し合って、  
力を合わせて、  
やっていきましょう。